

今年度の「二十歳の集い」には新成人になる49人が参列し、再会に声を上げて喜びました。当日の式典では新成人を代表して実行委員長の早坂萌さんが「20歳として責任感を持って『前進』していきましよう」とあいさつを述べました。

高橋町長からは「コロナ禍を乗り越えた皆さんなら、必ずいい人生が送れます。活躍を期待しています。とお祝いの言葉が贈られました。」

その後、第2部で行なわれた記念講話では中学3年生当時の恩師による元生徒たちに向けたメッセージなどがあり、中学時代の思い出話を語ってもらい、大いに盛り上がりつつありました。

今年の新成人たちのテーマは「前進 ～未来へのバトンをつなぐため」。今までの自分から、これからの自分につながるように一歩ずつ着実に進めるようにといった意味が込められています。

愛郷心あふれる皆さんにとって、希望に満ちた未来になりますよう、今後のご活躍を期待します。

二十歳の自分へ



当時の最上中学校の先生たち、恩師からの言葉



当時の学年主任
佐藤二郎先生

二十歳の集い、本当におめでとうございます。立派になった皆さんを見て、本当にうれしく思いました。これからも、自分の夢や目標に向かって突き進んでください。応援しています。



当時の学年の担任
柏倉英司先生

これからも、つらいことや困難に負けないで、自分の命や、家族とその命を大切に、たくましく成長してください。周囲への感謝、「ありがとう」の気持ちを伝えるコミュニケーションを忘れずに活躍することを楽しみにしています！



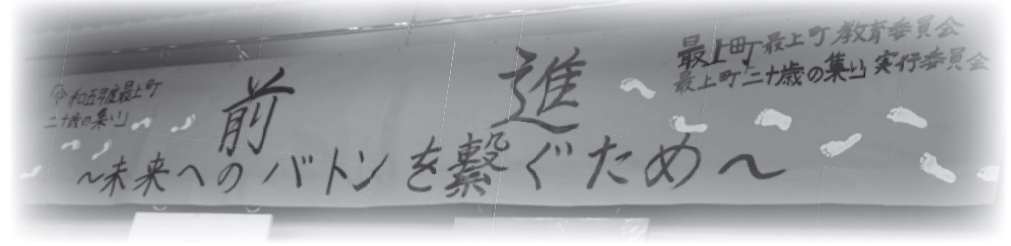
当時の学年の担任
小川美津子先生

中学生の頃はかわいかった皆さんが、キラリとした大人の顔になっていました。お会いできて本当にうれしかったです。昔のオモシロエピソードを語り合える日を楽しみにしています。



当時の学年の担任
伊藤かおる先生

二十歳の集い、本当におめでとうございます。皆さんの晴れやかな表情から、それぞれの場所で充実した日々を送っていることが伝わってきました。これからも様々な人生の選択に迫られることがあると思いますが、自分を信じて「力強く」歩んでください。



8月16日に行なわれた「二十歳の集い」

コロナ禍を乗り越え二十歳へ

